てんやこ 新聞

暑い 熱い 厚い 夏ごと

毎日、毎日、あちこちで暑い！暑い！の声がしに八月だったかな。
確かに気温が高い日が続きましたが、テレビ等での日は三十五度とか三十六度なんて知らせてくれるものですから、イヤでも耳に入り、より暑さを意識する様になってしまう。
別に、言われなくても、暑いのは、陽差しを体感すればわかります。それが、何度でもいいじゃないですか。
何処かから、注意されないと分からない人が多いのでしょうか。
そんな暑い八月。
徳島では、阿波踊りで熱い夏が一層盛り上がります。全国各地でも夏祭りがありますが、四国では高知のよさこい、と阿波踊りが熱い、熱い夏を演出。

'16.9. No.231
発行 南風団地
責任 南風団地
℡(083)-885-5292

そのた、夏の甲子園の戦い。
また、オリンピックもあったりして、熱さのヒートアップした人も少なくそれにしても、"金メダル"ってあげられますが、どうなの政治利用この赴がくまなんか私は善こべないんこれから、四年間、この"メ"ぬこれあるんでしょうね。その間に、問題ありそうな事を進めていく様な気がしてならない人ばけど…。

どうぐ
寒い！寒い！の
人の声。

ことが起きても、動きはじめる。
恐しい国ですよう。違いますか。
この暑い夏はどうすれば次をあけるのでしょうか。
また、田舎の夏も暑いですよ。
それは、補助金の夏ことも言えるのではないでしょうか。制度そのものは、いいのでしょうが、その効果がなくなる名前を変えて次々と続き、遂には、補助金がなければ動かなくなってしまう現実。
…と、暑い夏に熱い出来事や暑い夏のことを思いだしたら、あつという間に秋風です。
気がつけば、スキが風にゆれ、コオロギが見えたり、ソバの花が咲きはじめたり、もう暑さは過去形でうか。暑いことは様々ありそうです。
そうとも暑い夏は、原発ではなかったな。
四国にも伊方にあり、再稼動ごと様です。
広島、長崎そして、あの東北地方に大きな被害をもたらした東日本大震災時の東電原力の人災、何百年もしなければ"0"にならない様な